

## 5. 実証研究で得られた成果

本年度の実証研究を進めるにあたり、昨年度第3回の研究協議会で指摘された学校運営協議会の組織の見直しを図った。図1に示すのが従来の学校運営協議会の組織であり、図2が今年度見直しをし、改編した組織である。



図1 平成30年度学校運営協議会組織

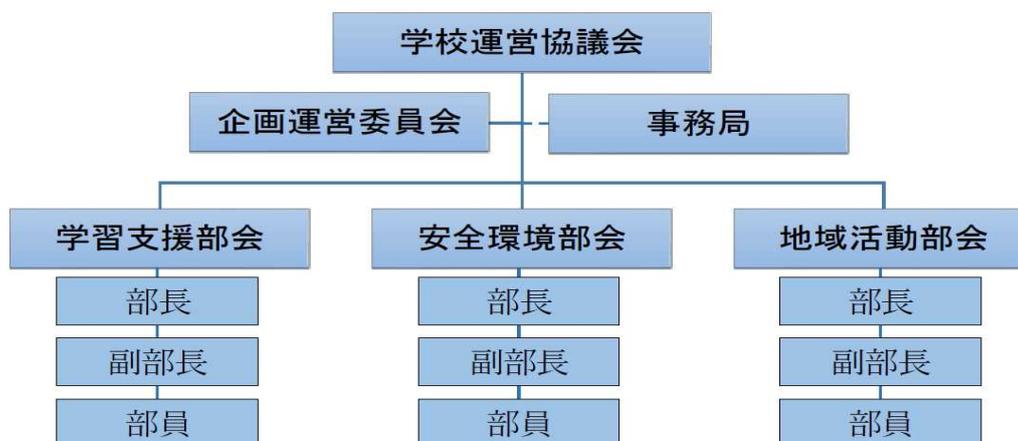


図2 令和2年度学校運営協議会組織

改変した組織では、3つの部会で次のような活動を行うよう計画し実施した。

○学習支援部会・・・学校教育実践に関わって、協働し、支援する部会

昨年までの活動に加え、カリキュラム実践にかかる協議及び助言、学校教職員からのゲストティーチャーの相談受付窓口と仲介・依頼、図書館整備作業などを行った。

○安全環境部会・・・登下校の安全見守り、校内美化環境整備など行う部会

昨年までの8月の校内環境美化作業や地域の見守り活動に加え、ワックスがけなどを行った。

○地域活動部会・・・児童生徒の地域行事への参画を促す部会

昨年までの活動に加え、学習支援部会や安全環境部会が行う活動について、地域の参加を促す取り組みを行った。

今年度の成果として第1に挙げられるのは、昨年度より引き続き取り組んだ8年生の模擬会社の取組である。5種類の商品を企画し、地域の企業を招いてのプレゼンテーションでの評価や産業博での市場調査の結果を受け、ブラッシュアップして製品化することに成功した。また、製品化するだけでなく、販売方法についても学習し、クラウドファンディングやCS全国大会、文化祭での対面販売、地域の企業への訪問販売を行った。これらの学習を通して、地域の良さを知るとともに、主体性や協働性など身につけさせたい資質・能力の育成につなげることができた。(リーフレット参照)

次にあげられるのが、学校運営協議会の組織の改編である。従来の2部会を学習支援部会、安全環境部会、地域活動部会の3部会とし、各部に部長、副部長を置いた。学校運営協議会の会長、副会長(各部の部長を兼ねる)、事務局が企画運営委員会で地域学校協働活動について熟議を行うことで、学校やPTA主体で行われていた活動を地域と一体となって行うことができた。

これらのことが評価され、府中明郷学園学校運営協議会が、令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受けた。